

## 議案檢討報告書

1. 發意 또는 提出者：大田直轄市長
2. 件 名：'91 一般・特別會計産業・建設委員會  
第2回 追加更正豫算案
3. 案 件 要 旨：別添參照
4. 檢 討 意 見：別添參照

위 案에 대한 檢討事項을 別添과 같이 報告합니다.

1991年 10月 日

産業・建設委員會

專門委員 李 雨



1991年度 一般 吳 特別會計  
産業・建設委員會所管第2回追加更正豫算案  
檢 討 報 告 書

### 1. 概 要

□ 大田直轄市 '91年度 第2回 追加更正豫算案 規模

(單位:百萬圓)

會 計 別		豫 算 額	既定豫算	今 回 追 更		備 考
				豫 算 額	増減比	
計		965,948 (100%)	830,487 (100%)	135,461	16.3	
一 般 會 計		331,383 (34.3%)	301,309 (36.3%)	30,074	10.0	
特 別 會 計		634,565 (65.7%)	529,178 (63.7%)	105,387	19.9	
公 企 業	計	547,370	449,718	97,652	21.7	
	上 水 道	65,639	59,191	6,448	10.9	
	下 水 道	16,635	16,270	365	2.2	
	公 營 開 發	415,778	336,328	79,450	23.6	
	公 課 金	3,900	3,895	5	0.1	
	地域開發基金	45,418	34,034	11,384	33.4	
其 他	計	87,195	79,460	7,735	9.7	
	住 宅	58,322	52,328	5,999	11.5	
	醫 療 保 護	5,438	4,040	1,398	34.6	
	工 團 造 成	70	70	.	.	
	公 有 林	442	442	.	.	
	專門研究園地	3,130	3,130	.	.	
	土地區劃整理	14,357	14,117	240	1.7	
	都 市 交 通	5,436	5,338	98	1.8	

## □ 産業・建設委員會所管 豫算案 規模

## ○ 歳入増減内譯 (總括)

(單位：百萬圓)

會計別	91追更豫算額		'91 豫 算		増 減		備考
	金額	構成比	金額	構成比	金額	%	
計	579,367	100	486,767	100	92,600	19	
一般會計	.	.	.	.	.	.	
公企業 特別會計	498,052	86	411,789	84.6	86,263	20.9	
其他 特別會計	81,315	14	74,978	15.4	6,337	8.5	

※ 大田直轄市 總豫算 對比：60%

## ○ 歳出増減内譯 (總括)

(單位：百萬圓)

會計別	91追更豫算額		'91 豫 算		増 減		備考
	金額	構成比	金額	構成比	金額	%	
計	734,914	100	486,377	100	101,537	16.0	
一般會計	155,547	21.2	146,610	23.1	8,937	6.1	
公企業 特別會計	498,052	67.8	411,789	65.0	86,263	20.9	
其他 特別會計	81,315	11.0	74,978	11.9	6,337	8.5	

※ 大田直轄市 總 豫算 對比：76.1%

## ○一般會計 事項別 歳出内譯

(單位：千圓)

事 項 別	'91追更豫算額		'91 豫 算		増 減	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	%
計	155,546,694	100	146,610,287	100	8,936,407	6.1
基 本 的 經 費	5,766,504	3.7	5,588,012	3.8	178,492	3.2
・ 人 件 費	3,793,114	2.44	3,683,277	2.5	109,837	3.0
・ 官署運営費	1,903,798	1.22	1,843,319	1.26	60,479	3.3
・ 基本經常費	69,592	0.04	61,416	0.04	8,176	13.3
事 業 費	136,024,906	87.5	127,617,789	87	8,407,117	6.6
・ 經常事業費	4,038,983	2.6	3,771,385	2.6	267,598	7.1
・ 主要事業費	131,985,923	84.9	123,846,404	84.4	8,139,519	6.6
其 他 經 費	13,755,284	8.8	13,404,486	9.2	350,798	2.6

## ○ 一般會計 部署別 歳出内譯

(單位：千圓)

會 計 別	'91 追 更 豫 算 額		'91 既 定 豫 算		增 減	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	%
計	155,546,694	100	146,610,287	100	8,936,407	6.1
地域經濟局	6,547,014	4.2	6,374,195	4.4	172,819	2.7
交通觀光局	3,535,102	2.3	3,434,716	2.3	100,386	2.9
都市計劃局	3,033,412	1.9	2,985,342	2.0	48,070	1.6
建設住宅局	141,314,428	90.9	132,839,174	90.6	8,475,254	6.4
綜合建設本部	1,116,738	0.7	976,860	0.7	139,878	14.3

## ○ 特別會計 事項別 內譯

(單位：千圓)

事 項 別	'91追更豫算額		'91 豫 算		增 減	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	%
計	579,367,139	100	486,767,390	100	92,599,749	19.0
基 本 的 經 費	26,080,580	4.5	24,785,177	5.1	1,295,403	5.2
・ 人 件 費	5,517,819	0.9	5,406,865	1.1	110,954	2.1
・ 官署運營費	3,858,678	0.7	2,941,713	0.6	831,965	28.3
・ 基本經常費	16,789,083	2.9	16,436,599	3.4	352,484	2.1
事 業 費	317,485,452	54.8	293,754,995	60.3	23,730,457	8.1
・ 經常事業費	14,574,345	2.5	12,793,691	2.6	1,780,654	13.9
・ 主要事業費	302,981,107	52.3	281,031,304	57.7	21,949,803	7.8
其 他 經 費	235,731,107	40.7	168,157,218	34.6	67,573,889	40.2

## ○ 特別會計 事業別 歳入歳出内譯

(單位：千圓)

事業別	'91追更豫算額		'91 豫 算		増 減	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	%
合 計	579,367,139	100	486,767,390	100	92,599,749	19.0
公 企 業	498,052,458	86	411,789,390	84.6	86,263,068	20.9
・ 上 水 道	65,639,530	11.3	59,191,000	12.2	6,448,530	10.9
・ 下 水 道	16,634,928	2.9	16,270,390	3.3	364,538	2.2
・ 公營開發	415,778,000	71.8	336,328,000	69.1	79,450,000	23.6
其 他	81,314,681	14	74,978,000	15.4	6,336,681	8.5
・ 住宅事業	58,321,500	10.1	52,323,000	10.7	5,998,500	11.5
・ 工業團地	70,000	0.01	70,000	0.1		
・ 専門研究團地	3,130,000	0.5	3,130,000	0.6		
・ 土地區劃整理	14,357,000	2.49	14,117,000	2.9	240,000	0.2
・ 都市交通	5,436,181	0.9	5,338,000	1.1	98,181	1.8

## 2. 檢討意見

1991年度 産業・建設委員會 第2回追加更正豫算案은 一般및 特別會計歲出 總豫算額이 734,914百萬원이며 (市對比 76.1%) 既定豫算額이 633,377百萬원이고 增加 豫算額이 101,537百萬원으로 當初 豫算額 보다 16%가 增加計上되었습니다. 먼저 內容別로 報告드리면

- 첫째, 一般會計는 歲入이 없으므로 歲出規模內容만을 말씀드리면
  - 基本的 經費 5,766,504千원中 (構成比 3.7%) 178,492千원인 3.2%가 增額 計上된바, 人件費 3,793,114千원(構成比2.44%)은 機構改編및 人力增員에 對한 基本的인 追加所要額 109,837千원 (3%)을 計上하였으며, 官署運營費 1,903,798千원과 基本經費額 69,592千원은 機構改編 및 人力增員에 對한 行政需要充當經費로 計上 되었습니다.
  - 事業費 136,024,906千원中 (構成比 87.5%) 8,407,117千원인 6.6%가 增額 計上된바
  - 經常事業費 4,038,983千원 (構成比 2.6%)은 事業推進에 따른 旅費, 需用費, 手數料, 材料費, 補償金 등이 主從을 이루는 豫算으로 計上되었음
  - 主要事業費 131,985,923千원은 別添 內容과 같이 構成비가 84.9%를 차지하고 있으며 主要事業은
    - ① EXPO'93 準備事業은
      - ・ 道路事業과
      - ・ 交通事業이 있으며
    - ② 住民宿願事業으로
      - ・ 小規模住民宿願事業과
      - ・ 河川 覆蓋事業이 있으며



③ 市街地 環境整備事業으로

- ・ 道路整備와
- ・ 儒城川 綜合開發이 있습니다

○ 其他 經費 13,755,284千원(構成比 8.8%)中 350,798千원인 2.6%가 增額 計上된바 이는 債務償還金 및 自治區 調整 交付轉出金 및 豫備費로 計上되었습니다.

□ 둘째로 公企業特別會計 歲入으로는 498,052,458千원中 追更에 20.9%인 86,263,068千원이 增額 計上된바, 主要事業 歲入源으로

- ・ 用地分讓代金 10,742,588千원
- ・ 國民住宅基金 209,687千원
- ・ 先 受 金 68,400,000千원
- ・ 下水道事業으로 364,538千원
- ・ 上水道事業으로 6,448,530千원이

追加更正豫算으로 計上되었습니다.

□ 셋째로 其他 特別會計 歲入으로는 81,314,681千원中 追更에 8.5%인 6,336,681천원이 計上된바 主要事業 歲入源으로

- ・ 住宅事業의 地方債 借入金 및 過年度 收入 5,998,000千원
- ・ 土地區劃 整理事業의 預金利子 收入 225,000千원
- ・ 都市交通事業의 收入金 98,181千원이

追加更正豫算으로 歲入計上되었으며

□ 넷째로 公企業特別會計 歲出로는 498,052,458千원中 追更에 20.9%인 86,263.068千원이 增額計上된바, 主要事業으로는

○ 上水道事業으로 6,448,530千원中

- ・ 第3.4工團 工業用水 供給施設 1,418,486千원
- ・ 大德大橋 - 湖南高速道路 擴張 1,700,000千원
- ・ 給水施設 1,187,000千원 이며

- 下水道事業으로 364,538千원中
  - ・ 下水終末處理場 2段階事業 127,000千원
  - ・ 下水終末處理裝備 및 施設 165,000千원
- 公營開發事業으로 79,450,000千원中
  - ・ 第3工團 造成 7,365,000千원
  - ・ 第4工團 造成 3,078,000千원
  - ・ 法洞宅地開發 3,296,000千원
  - ・ 工團周邊 開發 2,908,000千원
  - ・ 豫備費(4工團 先受金 預置金) 61,908,922千원

□ 다섯째로 其他 特別會計 歲出로는 81,314,681千원中 追更에 8.5%인 6,336,681千원이 增額 計上된바, 主要事業으로는

- 住宅事業으로 5,998,500千원中
  - ・ 長期賃貸 事業 5,998,500千원
- 土地區劃整理事業의 240,700千원은
  - ・ 換地處分 및 小規模 區別整理事業 基本計劃 用役費
- 都市交通事業으로 98,181千원中
  - 駐車場 出入口 設置 및 交叉路 改善事業費 一部를 減額하여
    - ・ 駐車場 빌딩 建立 350,000千원은
    - ・ 都市交通改善事業(市內一圓) 622,000千원등에 計上되었습니다

以上과 같이 一般 및 特別會計 事業費가 EXPO 準備를 위한 主工事와 連繫된 繼續事業을 推進하기 위하여 追加更正豫算을 編成하였으며, 上水道事業으로는 3.4工團 工業用水供給을 위한 事業과 市民의 圓滑한 水源供給을 위하여 大淸湖系統 3次上水道擴張 工事을 위한 事業이며, 下水道事業에 있어서는 現在 150万톤(30%)만 處理할 수 있는 實情에 있어, 2次 工事를 위한 用地補償費를 增額시킨바, 2次工事が 完了되면 300万톤(60%)의 流入量을

處理할 수 있고, 3次 事業을 繼續推進 實施토록 하여야 할 實情에 있으며, 公營開發事業으로 第3.4工團造成 計劃으로 增額 計上된바, 이는 政府政策인 200萬戶 住宅建設計劃에 의거 法洞과 工團周邊宅地開發事業과 長期賃貸 및 勤勞福祉住宅建設을 위하여 推進하는 事業이므로 圓滑한 事業施行을 위한 追加更正 豫算으로 思料됩니다

#### □ 改善事項

##### (1) 運營上の 改善

機構改編에 의거 大田直轄市 綜合建設本部가 1991年 4月 15日 開設된바, 그동안 一部豫算이 本廳에 計上되어 있어 本廳에서 綜合建設本部로 再配定하고 있어 業務推進에 非能率的인 實情이므로 1992年度 豫算編成 부터는 綜合建設本部에 豫算을 編成하여 迅速 執行 處理토록 함이 可하다고 思料됨

##### (2) 建物増築 改善

上水道事業費中 追加更正豫算에 新灘津 取水場, 淨水場, 附屬建物増築에 對하여 22,000千圓을 計上한바, 同 地域은 開發制限區域으로 建設部長官의 事前承認을 득한후 増築을 하여야 함으로 建築工期를 감안할때 不實工事が 憂慮됨  
1992年度 豫算에 計上하여 建築함이 可하다고 思料됩니다.

### 3. 參考資料 - 主要事業調書 (別添 參照)

## 主 要 事 業 調 書

## □ 一 般 會 計

(單位:百萬圓)

事 業 名	事 業 量	事 業 費			既 定 豫算額	備 考
		計	國 費	市 費		
計	22件	8,533	25	8,508		
道 路 交 通	13件	7,430		7,430		
○ 操車場 ~ 院村橋間 道路土地補償不足分	1,080m	2,960		2,960	5,000	
○ 忠大進入路 擴張 土地補償 不足分	270m	1,600		1,600	3,400	
○ 道路掘鑿 復舊費	1,572a	750		750	5,061	
○ 甲川右岸道路開設 用地 補償	5km	660		660	22,670	
○ 龍雲洞 高層APT 周邊道路開設用地 補償	830m	420		420		區費 50%
○ 道路工事 附帶費	1式	370		370		
○ 정생~금동간 道路 擴鋪裝	1km	300		300		
○ 한밭大路 오정陸橋 改良	50m	100		100		
○ 市一圓 鋪裝道路補修	5個區	100		100	500	
○ 萬年橋 補修	1個所	50		50		
○ 거리밝히기事業(保安燈)	5個區	60		60		
○ 안영~정생間 道路 用地 補償	1式	40		40		

(單位:百萬圓)

事 業 名	事 業 量	事 業 費			既 定 豫算額	備 考
		計	國 費	市 費		
○ 電子信號 體系改善 設計 用役費 支援	1式	20		20	515	
治 水	6件	1,018		1,018		
○ 儒城川 綜合開發	18.5km	433		433		
○ 炭洞川 改修 不足分	橋梁 50m 配水施設85m	200		200	700	
○ 邊洞川 覆蓋	150m	200		200	330	
○ 안산川 改修	300m	90		90	172	
○ 比來川 覆蓋	670m	75		75		
○ 柳等川 整備 지장물 補償	1式	20		20		
産 業 經 済	3件	85	25	60		
○ 家畜衛生 試驗 裝備 不足分	우유분식기 等 3種	55	25	30	70	
○ 農水産物 都賣市場 施設 補修	3個事業	15		15		
○ 週末學習 農場造成 用役	1式	15		15		

## □ 特別會計

事業名	事業量	事業費			既定 豫算額	備考
		計	國費	市費		
計	21件	31,455		31,455		
公企業						
上水道事業	5件	5,141		5,141		
○ 3.4工團 工業用水供給 施設	1日70千t	1,418		1,418	3,000	
○ 大德大橋 ~ 湖南高速道路 排水管 敷設	L=6km D=900mm	1,700		1,700		
○ 大清湖 系統 3次 上水道 擴張 事業	L=3.5km D=2400mm	586		586	2,219	
○ 月坪 淨水場 排水施設 基本計劃 設計用役	1式	250		250		
○ 給水 施設	新設및 補修	1,187		1,187	2,380	受託工事
下水道事業	2件	292		292		
○ 下水終末處理場 2段階 事業用地 補償	15,073坪	127		127	1,483	
○ 下水處理裝備및 施設	탈수기외 4種	165		165	-	
公營開發事業	6件	17,457		17,457		
○ 工團 造成						
・ 第3工團 造成	374千坪	7,365		7,365	42,278	
・ 第4工團 造成	551千坪	3,078		3,078	1,000	

(單位:百萬圓)

事業名	事業量	事業費			既定 豫算額	備考
		計	國費	市費		
○ 住宅開發						
・ 法洞宅地開發	152千坪	3,296		3,296	24,682	
・ 工團周邊開發	284千坪	2,908		2,908	39,777	
○ 廳舍賃借	350坪	600		600		
其他						
住宅事業	1件	5,999		5,999		
○ 長期賃貸及 勤勞福祉 住宅建設(公營開發 事業支援)	長期賃貸 630戸 勤勞住宅 900戸	5,999		5,999	7,200	
土地區劃整理事業	4件	1,568		1,568		
○ 山城地區 換地處分 用役	738千m <sup>2</sup>	180		180		
○ 鐵道邊 樹林帶 及 公園 造成	1,250m	988		988		事業變更 分
○ 公道開設 防音壁	16,529m <sup>2</sup>	250		250		//
○ 小規模 土地區劃 整理 事業 用役	1,274千m <sup>2</sup>	150		150		
都市交通事業	4件	1,208		1,208		
○ 駐車場 빌딩 建立	12,939m <sup>2</sup>	350		350		事業變更 分
○ 駐・停車 禁止區域線	31,042m <sup>2</sup>	149		149		
○ 都市交通 改善事業	市內一圓	622		622		//
○ 電子感應 信號體系 管制센터 増築 (1,686→2,149m <sup>2</sup> )	463m <sup>2</sup>	87		87	1,915	